

We Create a Bright Future!

# G-NET Shiga



## 若者がすすめるジェンダー平等

### CONTENTS

G-NETしが女性の起業応援センターオープン!

### 「ジェンダー平等子ども会議」

### 特集: 私たちがすごしやすい学校・社会をつくる

若者の思いを知る[活動・デートDV]本で学ぶ!  
講座REPORT  
女性活躍紹介  
交流すること  
INFORMATION

集めようみんなの VOICE  
届けよう私たちの社会へ



## Information



G-NETしが

### 滋賀県立男女共同参画センター “G-NETしが” 男女共同参画相談室

相談は無料です。秘密は守ります



みな はなさく  
TEL 0748-37-8739



**受付時間**  
火、水、金、土、日  
9:00~12:00、13:00~17:00  
木 9:00~12:00、17:00~20:30  
(祝日の翌日・年末年始・施設点検日等を除く)

#### 専門相談

- ◆電話相談◆
- ◆面接相談◆

#### 総合相談

- ◆DVカウンセリング◆
- ◆法律相談◆
- ◆男性相談員による男性相談◆

ひとりで悩まないで まずはお電話ください。一緒に考えていきましょう。

### 女性の就労サポート 総合受付:0748-36-1831

滋賀マザーズジョブステーション・近江八幡 (当センター内)

- ★マザーズ就労支援相談コーナー……0748-36-1831  
＜キャリアカウンセラーによる就労相談、保育情報の提供、各種講座の開催など＞
- ★母子家庭等就業・自立支援センター 0748-37-5088  
＜ひとり親の方への再就職、転職、訓練、講習会など就業に関する相談や情報提供＞
- ★ハローワークマザーズコーナー……0748-37-3882  
＜職業相談、職業紹介＞
- ☆長浜「子育て応援カフェLOCO」で出張相談を実施しています。  
毎週月曜日 10:00~15:00(長浜市北船町3番24号 えきまちテラス長浜2階 LOCO Living)  
詳しくは総合受付(0749-53-4480)へお問い合わせください。
- ☆JR草津駅前にも相談窓口があります。  
滋賀マザーズジョブステーション・草津駅前  
総合受付:077-598-1480 草津市大路1-1-1 エルティ932 ガーデンシティ草津 3階  
※休所日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

※当センター主催の講座や相談に参加される場合、無料託児をご利用いただけます。

### 貸館利用者募集

当センターでは、大ホールや研修室、日本庭園のある茶亭などをお貸ししています。是非、お問い合わせください!



500人収容の大ホール



〒523-0891  
滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4  
【開所時間】午前9時~午後9時  
【休所日】月曜日(祝日除く)、祝休日の翌日、年末年始、施設点検日等

【TEL】0748-37-3751  
【FAX】0748-37-5770  
【E-Mail】g-net@pref.shiga.lg.jp

#### アクセス

JR近江八幡駅下車南口より500m(徒歩10分)またはJR近江八幡駅南口から近江バス「男女共同参画センター前」下車



滋賀県立男女共同参画センター情報誌vol.41  
発行日/令和3年10月1日  
編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター



## 女性のチャレンジを全力で支援する

### グランドオープン

6月23日(水)、県立男女共同参画センターG-NETしが女性起業を一貫して支援する「G-NETしが女性の起業応援センター」をオープンしました。G-NETしがでは、これまでからも女性の起業を応援する取り組みを行ってきましたが、今回その支援を更にパワーアップさせていきます。

具体的には、起業やステップアップの際に必要な知識を得るセミナーの開催、専門家の助言を得ながら業務を進めることができるコワーキングスペースの運営、シヨップ体験や起業家同士の交流会の開催など、あらゆる角度から伴走型支援を行っていきます。

すでに起業されている方も、起業しようか迷っておられる方も、まずは相談やセミナーを受けていただき、ご自身のチャレンジを進めていただけるよう支援していきます。また、コロナ禍において雇

用の面でも多くの女性が弱い立場に立たされている中、その課題解消に向けて「起業」という働き方も一つの選択肢として示していきたいと考えています。起業を考えた女性に、「G-NETしが女性の起業応援センター」を存分に活用いただき、ご自身の思いをカタチにしていっていただきたい。そして、このセンターを拠点に多くのイノベーションが生み出されることを期待しています。



中條滋賀県副知事とともにオープニング記念撮影

## 女性の置かれている状況

### コロナ禍における女性の就労の課題

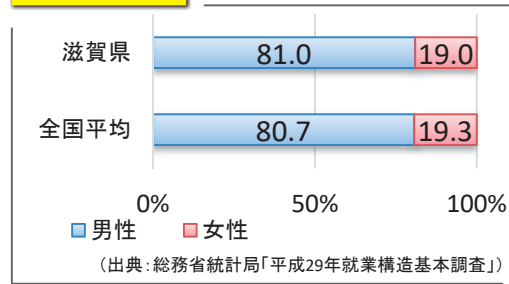
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により女性の就労に係る課題は大きくなっています。第1回目の緊急事態宣言下(2020年4月~5月)では男性240万人に対して女性は357万人の休業者数となっています。その後も女性は毎月100万人以上の失業者数となっており、2020年の月別平均休業者数は女性152万人で前年より45万人増えています(男性104万人、前年より35万人増)。

産業別には、産業別就業率の前年同期差(第2回目の緊急事態宣言が出された2021年1月~3月の一月当たり平均)では、小売業では女性は-16.3%(男性+2.7%)、宿泊-9.7%(男性-6.0%)、飲食-16.0%(男性-9.7%)と、サービス業を中心に落ち込みが大きくなっています。

女性の就労の状況が厳しくなっている中で、起業も就労の一つの選択肢となっています。

(参考:「コロナ下の女性への影響について」令和3年 内閣府)

### 女性起業家の割合



### 県内の女性起業家の状況

滋賀県の女性の起業の状況は、総務省統計局「平成29年就業構造基本調査」によると、女性の起業家数は8,800人で、全体の19.0%にとどまっています。全国的にも割合は低く、男女格差が大きい状態が続いています。

## VOICE

### 自分の能力に自信をもつて 動き出すとほっとする

an.fun代表 西山彰子さん

6月23日(水)、県立男女共同参画センターの令和3年度女性のチャレンジ支援事業について運営をする機会をいただきました。「女性のチャレンジ・起業セミナー」をはじめ、「女性のコワーキング・チャレンジオフィス」のオフィスマネージャーを仰せつかり新たな出会いにワクワクしております。

起業について、漠然とだけれど関心があったり何をどうすればいいかわからない、という方へお伝えしたいことは、「ほんの少しの勇気をもって行動してほしい」ということです。『県や行政』というところでも敷居が高くて、私が行ってもい

いの?」と考えられる方が多いのですが、「もっと早く、利用すれば良かった」と言ってもらえるようにわかり易い言葉でアドバイスをしたいと思います。

一人で悩んでいるよりも、きっと良いアイデアが見つかると思います。皆さんが考えるよりも起業は、ハードルが高くないのです。とは言え起業するには、それなりの覚悟や決意が必要です。何をやるかによっても、しっかりと資金の準備も必要です。継続し続ける情熱も大事。

考えているだけでは、夢も目標も遠い存在のままでは進まないのです。行動することで、チャンスがつかめる。自分の能力やこれまでの経験を活かして、チャレンジしたい皆さんの背中を押すことが、私のオフィスマネージャーとしての役割だと考えております。もっと元気で活躍する女性が一人でも多く当センターから誕生するのが楽しみです。

## 夢に向かって わたしのチャレンジ

### お花ハーブの香りでお花ハーブの香り(二機嫌)

選りすぐりのフレッシュなお花と無農薬で育てたハーブを束ねる楽しさを伝えたい。美しさと極上の香りに癒される至福の時間。五感で感じ、素敵な作品ができる自分を発見し明日への希望へとつながっていたくレッスンです。



ハーブでフラワーレッスン Pomme de fleur 小杉 史世さん

### 事業⇨人生⇨社会貢献

結局はビジネスも人間力が全て。自らの資質をどこまでも高めることを通じて、社会のお役に立ちたい。ただその一心で今を生きておられます。こちらまでご縁をいただいた方々と一緒に、よりよい形で成長し続けてゆけますように。



志を持つ女性のサポート事業を行う内田瑠いさん

### 子育ての辛さに直面！音楽で応援！

様々なイノベーションを生み出すミーティングデスク



1歳児を育てながら事業準備中、音楽のある子育てサークルを2021年春より始める。個の時代に必要なのは繋がり。子育ても仕事も応援しあえる仲間をつくりたい!ともに社会の課題解決と自己実現を目指しましょう。



森口美和子さん

西山彰子さん  
an.fun代表。FDIコンサルティング業務や起業支援に携わる。中小企業庁滋賀県よろず支援拠点コーディネーター、1級ファイナンシャルプランニング技能士



提案

ジェンダー平等について 自分で調べ



前半はSDGsの基礎、ジェンダー平等について学びました。後半、子どもたちに大学生も加わり、今回のテーマについて考え、まとめ、発表しました。



「ジェンダー平等子ども会議」の様子

7月25日  
開催

# ジェンダー平等子ども会議

自分らしさを発揮できる学校にするために何ができるのか



## わたしたちの提案

会議の中で、子どもたちの学校生活での身近な課題として、①通学帽子の男女分け②女子の身だしなみについて子どもたちから意見が出ました。

### 服装で男女を分けること

小学生は帽子や標準服のボタンのかけ方で男女分けがされていることが多いです。帽子の男女分けが1つ目の課題として挙げられました。  
これまで疑問に思ってたかったけれど、男一人で分けてしまっている。  
一人ひとりが納得する方を選べばいい。

選択制にするのもいいけれど、女子がキャップをかぶるのは抵抗は少ないけれど、男子が女子用のハットをかぶるのは恥ずかしいし、できないと思う。  
安全のためにかぶるのであればどんな帽子でも良いようにすればいいと思う。

### 「女の子らしく」を求めらねえ

「女の子だから」ということで男の子には求められていないことを求められることはまだまだ残っています。2つめは、女子がヘアセットをしないと指摘されるということが挙げられました。

朝、女子がヘアセットせずに学校に行くこと、「女子やのにヘアセットしてない」と言われる。

女子だけが言われるのはおかしい。周りから言われたからと言ってそうしなればいけないわけではない。自分がよいと思えばそれでいい。

自分らしく生きていて良いと応援してくれる友だちが増えればいい。

自分には何ができるか。  
どちらか男らしく女らしくという考えからきている。ジェンダー平等ということをいろんな人に知ってほしい。まずは自分自身が学んだり、調べたりする。そうしないと伝えられない。

## みんなに伝えたい

まずはジェンダーについてよく知ること、そして伝えることで、性別による決めつけをなくし、性別にかかわらず自分の良さを発揮できるようにしたいと提案が出されました。学校という教育の場でジェンダーについて学ぶ機会はありません。学校でも学ぶことができれば、子どもたちが性別によって行動や選択を制限されることが減り、自らが思い描く将来へ進んでいけるのではないのでしょうか。この会議を発信源として、子どもたちの思いが届き、学校教育の場でジェンダー教育が進んでいくことを願っています。

# 社会全体で変えていくために

学生に「男女平等ですか？」と尋ねると、男女問わず多くが「平等だと思ふ」「特に差を感じたことがない」と答えてくれました。ただ、社会や家庭に目を向けてみると、まだまだ固定的性別役割分担意識が多くあることに気づきます。さらに就職活動などで、社会と教育の場という2つの環境を同時に見ると、学校現場では男女平等が重視されてきたのに、社会では平等が通じないことに気づかされたという声がありました。将来について夢と希望が膨らんでいる若者が性別にかかわらず活躍し、自身で選択できる社会を作っていく必要がなければなりません。

若者が社会の課題に気づき、発信していくことで、より良い社会にしていくことは、今後一層求められていきます。

## 時代の最先端である若者が社会をより良く変える!



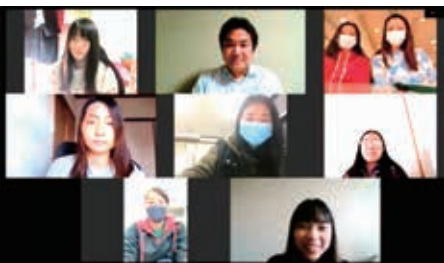
就労の場には様々な世代がいて、ジェンダーバイアスが強いとすると...

**就労の場 平等意識弱い**

- 少数派であるため、男女の平等を主張できない。
- ジェンダーの再生産に加担することになる。

**学生 平等意識強い**

負のスパイラルが続く



遠隔による意見交換 上部中央が富川先生

聖泉大学人間学部の富川ゼミでは、学生が主体となって「ジェンダー平等プロジェクト」に取り組んでいます。米原市役所との連携による「遠隔によるジェンダー平等プロジェクト」では、市の若手職員との協働で「LGBTQ」に関する政策、特に「アライ」を増やすための政策を検討してきました。

彦根市役所との連携による「十人十色プロジェクト（性の多様性を知ってもらおう!）」では、「彦根市パートナーシップ宣誓制度」の周知やLGBTQへの理解を深めるための情報発信に取り組んでいます。



ラジオ番組の制作(情報発信)

これらのプロジェクトは「PBL型授業 課題解決型学習」の一環として実施しています。教員のサポートはあっても、あくまでも学生主体の活動を通して、それぞれが当事者としての意識を持ち、自身の問題としてジェンダー平等について考え行動できるようにすることを目指しています。現在は、G-NETが主催の「ジェンダー平等 課題別意見交換会」にも参加し、活動の輪を広げています。

ジェンダー平等社会の実現に向けては、大学生をはじめとした若者が、当事者の一人として各種取り組みに参画することが重要になります。県内の大学生の皆さん、若者が主役のジェンダー平等プロジェクトと一緒に活動してみませんか。

### VOICE

#### 大学生によるジェンダー平等プロジェクト

聖泉大学 人間学部 富川 拓准 教授



## 新たな気づきを広める

Point  
男の子は青色、女の子はピンクって言われることがあるけど、私は青色が好きだよ!

私たちも考えたよ!

「ジェンダー平等子ども会議」では、子どもたちそれぞれから提案が出されました。この提案が県内の学校で実践に移され、ジェンダー平等で過ごしやすく、安心して自分を表現できる学校になることを願っています。そのためにこの提言を地域、学校現場に広げていく必要があります。



ジェンダー平等に向けた私たちの思い

対等な関係

ジェンダーについてあまり知らなかったけど、男子も女子も対等にかかわれたらいい

自分を大事に

男らしさ女らしさではなくみんな平等になって、自分を大事にする

差別をなくす

ジェンダーという言葉を知っている人にも知らせてもらって、男女で差別することをやめてもらいたい

**個人を見る**

男子だから女子だからで判断するのはなくて、その人として判断してほしい

**一人ひとりを大事に**

女子だから男子だから当たり前前になつていけど、ジェンダーについてもっと知ってもらって、一人ひとりを大事にしていけるようにしたい



**自分の考えを大事に**

男子だから女子だからではなく、私はこう考えていると言える人になりたい

**友だちに知らせる**

ジェンダーを学んで、男女で区別しないということを知りたい

### VOICE

#### 子どもたちと共に考えて

聖泉大学 3年生 谷口 海月 さん

「ジェンダー平等子ども会議」に、ユースリーダーとして参加させてもらいとてもよい経験ができました。

今回は「自分らしさを発揮できる学校にするためにできることを提案しよう」というテーマだったので、子どもたちにはテーマに沿って「自分らしさ」について考えてもらいました。「自分らしさ」とは何かと問われると、とても奥が深く正解のない問いだと思います。そのため、子どもたちには少し難しいかもしれないと思いましたが、一生懸命考えてくれて、自分なりの答えを導き出してくれたので良かったです。

また、「自分らしさが発揮できない時はどんな時か?」「自分らしさを発揮するために何(考えや行動)が必要か?」子どもたちに考えてもらった際、様々な課題が出てきました。中でも、ジェンダーに関わる問題や勝手に決めつけられている学校のルールなどが課題として挙げられました。課題について考えていくうちに、これまで勝手に決めつけられて「当たり前」と思っていたことに、子どもたちが疑問を持ち始めた。最終的にはジェンダーについてもっと知るべきだと、考えてくれるようになりました。男・女らしさなどで区別しないことなど、ジェンダー平等について色々と考えてくれるようになったので、今回の「ジェンダー平等子ども会議」は、意義深いものになったと思います。

「自分らしさ」や「ジェンダー」について子どもたちと一緒に考え、学び、自己理解や新たな学びになりました。



# 若者の学びと思い

VOICE

### 若者がジェンダーについて学ぶ意義と 具体的なアクション

滋賀県立大学 人間文化学部 3回生  
山村 悠理恵



「ジェンダー」という言葉を耳にする機会が多くなったように思いますが、2030年までの国際目標であるSDGsの中にも「ジェンダー平等を実現しよう」が目標として掲げられています。ここでは、若者がジェンダー平等について学ぶ意義を考えたいと思います。

2021年3月に世界経済フォーラムが公表したジェンダーギャップ指数の日本の総合スコアは156か国中120位であり、先進国の中では最低レベルとなっています。現状ではジェンダー平等には程遠いことがわかります。

ジェンダー平等を実現することは、「自分らしさ」を認めることにつながると考えています。「女性だから家事をする」「男性だから理髪だ」というのは、これまでの固定観念にすぎず、各個人の本来の姿ではありません。個人の権利を尊重するためにも、性差別や男女間での不平等はもろろん許されません。私は一人ひとりの個性を性別にとらわれず認めるために、ジェンダーを学んでいます。

学校現場では、若者の教育によって、これまでの「当たり前」を変えていくことで、さらに先の時代の主役となる子どもたちにもジェンダー平等を理解してもらおうことができます。日常生活の「当たり前」に隠れていた「自分らしさ」を引き出すことのできる環境づくりが教育現場には必要なのではないでしょうか。

また、政策の意思決定の場に若者が参加することも重要ですが、政府や県に対し、選択的夫婦別姓や同性婚、性教育の充実、緊急避妊薬の市販解禁や就活セクハラをなくす対策など、ジェンダー平等に向けて今抱えている問題点をパブリックコメントや提言によって示すことで、実際に若い世代の声が反映され、政策改善の末に人権が尊重された暮らしを送ることができるようになります。

若者ならではの視点から声をあげることで、誰もが生きやすい環境づくりが進められるのではないのでしょうか。今、若者の世代から一歩踏み出すことが必要です。

### 教員を対象とした アンコンシャスバイアス研修プログラムの開発

立命館大学 生命科学部 4回生  
水上 理雅



世界のダイバーシティ化に伴い、近年では「アンコンシャスバイアス（無意識の偏見・UB）」に注目が高まりつつある。アンコンシャスバイアスとは、誰もが潜在的に持っている先入観や思い込みのことを指す。育つ環境や所属する集団のなかで脳に刻み込まれ、既成概念、固定観念となっていくことで形成されるアンコンシャスバイアスの程度を測る潜在連合テスト(IAT)の分析結果を見ると、偏見に対する顕在下と潜在下の意識の間にはギャップが存在し、このギャップは人種、ジェンダー、障がい者など、様々な対象に向けられ、世界規模における社会問題にも繋がっている。SDGsによりダイバーシティが謳われている中、学校という小さな社会においても多様性と包摂性が課題であり、アンコンシャスバイアス研修の必要性を感じさせる一方、日本においては一部の企業及び地方自治体のみUB研修が実施されている現状である。実際にジェンダーに関する研修を受けた教員はLGBTに関する悩みを持つ生徒の存在に気づきやすいというデータがあるこ

い、近年では「アンコンシャスバイアス（無意識の偏見・UB）」に注目が高まりつつある。アンコンシャスバイアスとは、誰もが潜在的に持っている先入観や思い込みのことを指す。育つ環境や所属する集団のなかで脳に刻み込まれ、既成概念、固定観念となっていくことで形成されるアンコンシャスバイアスの程度を測る潜在連合テスト(IAT)の分析結果を見ると、偏見に対する顕在下と潜在下の意識の間にはギャップが存在し、このギャップは人種、ジェンダー、障がい者など、様々な対象に向けられ、世界規模における社会問題にも繋がっている。SDGsによりダイバーシティが謳われている中、学校という小さな社会においても多様性と包摂性が課題であり、アンコンシャスバイアス研修の必要性を感じさせる一方、日本においては一部の企業及び地方自治体のみUB研修が実施されている現状である。実際にジェンダーに関する研修を受けた教員はLGBTに関する悩みを持つ生徒の存在に気づきやすいというデータがあるこ

	国内事例 (埼玉県・教職員校内研修資料)	米国事例 (Univ.Wisconsin-Madison)
研修の目的	男女平等教育の推進	ジェンダー平等促進
受講者の目標	・一般的アウトプット目標 (男女平等教育についての認識を深める)	・具体的明確なアウトプット意識 (UBの科学的理解と対策戦略の修得)
主内容の構造	・現状格差データ、法的根拠、人権等をベースに男女平等を訴求 ・要因・メカニズム分析、対策検討の流れは読み取れない →「社会正義」アプローチ	・IATで個々のUB明確化 ・現状格差データの主要因をUBとして、メカニズムや実証された対策を科学的に説明 →「科学」アプローチ ・平等促進行動の増進、女性雇用の割合等を測定、効果分析
効果の測定	・明示されていない	

(図1 平成31年度「次世代のライフプランニング教育推進事業」報告書より)

## 「生理の貧困」座談会に参加して

### まずは正しい理解を

7月19日、大津市の県公館で大学生11人と三日月大造知事らによって「生理の貧困」についての座談会が開催されました。県が事前に行っていたアンケートに基づいて座談会は進行されました。実際どのような問題を抱えているかを学生側から発信し、実情とこれからの課題を共有することができました。

三日月知事はアンケート結果の背景にある社会像やジェンダー問題を分析する必要を示されました。また、県では今夏「女性のつながりサポート事業」を開始し、生理用品を提供したり相談支援窓口を設置したりし、生理を通じて抱える生きづらさを軽減する取り組みをすることでした。「個人差や年齢差、男女の違いがあるかもしれないが、知事と一緒に考えたい」「社会全体で理解や支援が広がれば」と意思を示されました。



知事との「生理の貧困」についての座談会

職場もありますが、「生理がつからなくて休みます」と言いづらいくことよって我慢をして出勤・登校するという人も未だに多いようです。根底には「生理」に対する社会の理解の浅さが見られるように思えます。また、症状については個人差が大きくあり、ほとんど痛みも出血量もない人もいれば、薬がなければ立ち上がることがままならない人もいます。必要なサイズが異なることによって生理用品購入にかかる費用も違うし、服薬が必要な人にとっては高額な通院代や薬代もかかることになる。そして症状の軽い人と重い人との間で生理に対する正しい認識の違い、理解が深まらない原因のひとつとなっています。異性からの理解を得ることも大きな課題ですが、異性間だけでなく同性間の理解を得ることも今後の課題と思われる。

この座談会の中で特に私の印象に残ったのは、生理にまつわる「知識の貧困」の存在についての話です。産婦人科は出産のことだけでなく、生理に関してもケアをしてくれるそうです。

漫画  
「気づこう！  
ジェンダーバイアス」  
の作者  
滋賀県立大学  
人間文化学部 3回生  
田原 華

それを周知させることで、生理不順など何かが起こった際に病院に行くことが適切に対処できます。

今回の座談会に参加し、発信することの重要さを切実に感じました。声をあげることで社会に変化を与えることができ、生理に対しての理解促進はもちろん、生理用品の無料配布、生理休暇の拡大など生理に悩むすべての人への支援が広がっていくのではないのでしょうか。この座談会の様子は新聞での支那が広がっていき、多くの人への取り上げられ、多くの人の目に留まったと思います。参加者のみならず記事を見た人も、各々が現状把握の上で自己の課題について向き合うことができたのではないのでしょうか。

### 生理の貧困に関する 座談会を通して

「生理の貧困」という言葉を検索すると、予測変換には「違和感」「意味不明」「嘘くさい」といった批判的な意見を示す文字が並んでいます。確かに、統計上の数字だけを見てもいいかもしれませんが、「あり得ないでしょ」と思う事実こそ、実は背景に見落とされている何かしらの要因がある気がしています。オシャレにお金を回す為に生理用品費用を削る、「つまり「外身の自分のケア」を怠ってまで費やされている状態であるならば、そうせざるを得ない本人たちなりの心的要因も関係しているのではないのでしょうか。外身を飾らないと認められないのではと言った自己肯定感の強度と関連付けてみるとまた見えるものが違うと思います。「数字」だけで判断されてしまっている現状は少し勿体無いと感じました。(水上理雅)

# 自分らしく生きていくための書籍・雑誌の紹介



BOOK 図書資料室より書籍案内

## 『女らしくなく、男らしくなく、自分らしく生きる』

露の団姫 // 著 春秋社 2019年



落語家であり僧侶である著者の経験や感じたことが、軽妙なタッチで語られています。「学級委員は男の子」「お茶くみは女のすること」「母親なのに子どもをおいて仕事に行くのか」というような、おしつけられがちな性別役割意識。自分の名前への思い入れから夫婦別姓を選択したいきさつ。女だから、男だからという性別にとられない生き方という著者の提唱する生き方は、男女共同参画の考え方をわかりやすく言い表したものと見え、男女共同参画の入門書として最適な一冊です。

## 『これからの男の子たちへ』

太田啓子 // 著 大月書店 2020年



「社会から性差別をなくすために男の子の育て方こそ大切じゃない?」  
離婚やハラスメント、性暴力に取り組む弁護士であり、二人の息子を育てる著者が語るジェンダー平等時代の子育て論。  
男の子たちには、ごく幼いうちから「有害な男らしさ」(暴力や性差別的な言動につながったり、自分自身を大切にできなくせたりする)のインストールが始まります。こうした「男らしさ」の呪いから自由になって差別や性暴力に怒り、一緒にたたかってくれる男性が増えることで、社会に「新しい常識」が生まれ、社会を変えていけるのではないのでしょうか。

☆ジェンダーや男女共同参画に関する雑誌も多数あります。



『イトセトラ』 イトセトラブックス 発行



『女性情報』 パド・ウィメンズ・オフィス 発行



『女性展望』 市川房枝記念会女性と政治センター 発行



男女共同参画に関する図書や関連資料、DVDやビデオなど6万冊以上の蔵書があり、貸出しをしています。レファレンスサービス、情報提供も充実しています。ぜひ、ご利用ください。



### ジェンダークイズ

Q1 世界経済フォーラムが出しているジェンダーギャップ指数2021(男女格差を表す指数)は日本は156か国中何位でしょう?  
①23位 ②77位 ③120位

Q2 令和3年度「男女共同参画週間」のキャッチフレーズは「女だから、男だから、ではなく、Oだから、の時代へ」です。Oに入る言葉(漢字一文字)は何でしょう?  
①11年 ②21年 ③31年  
答えはp12下部に掲載

私がデートDVの出前授業を男女共同参画センターにお願いする理由は、デートDVをDVの話だけで済ませるのではなく、『他者理解や自分を他者に理解してもらう』こととまで広げてお話ししたいだけだからです。現状、恋人なんか夢の又夢の本校の二年生みんなにとっては、デートDVを学ぶことはデートDVだけでなく、人権やダイバーシティを学ぶことそのものだと考えています。そこで自分と他者という考え方が大変重要になると思うからです。全ての取り組みは他者を理解し尊重することと自己を大切にすることにつながっていると考えています。デートDVを学ぶことで、その先に広がる人権尊重の考え方を学ぶことになると思っています。



まずは正しい知識を  
デートDVは児童生徒にかかわりのある問題ではありますが、身近な問題ととらえる子は少ないように思います。しかしデートDVは人生を大きく狂わせてしまう大きな問題であるとともに、DVにもつながりやすいのです。また、DVも身体的暴力にとらえられがちで、被害に気づいていない場合も多いです。そこで、滋賀県立男女共同参画センター「GNET」が、正しい理解と予防、解決への道筋を示すために、「より良いパートナーシップ・デートDV」について出前授業を行っています。主に①ジェンダー ②一人ひとりのちがいの尊重 ③境界線 ④デートDV について共に考える授業を提供しています。

ジェンダーについては、高校生であっても初めて聞く生徒が多くいます。学校教育で取り扱われることが少なく、これまで考えることがほとんどなかったのではないのでしょうか。生物学的な性とそのまますた社会学的な性(ジェンダー)として男女を分けてしまっている現実があり、子どもたちも将来自分の進みたい道を狭められてしまうことにもなります。男女としてちがいをみるのではなく、一人ひとり性別にかわりなくちがいを持っていることで、パーソナル単位でちがいを認め合うことの必要性に気づいてもらいたいと考えています。

授業後の児童生徒からは、「それぞれの境界線を意識し、相手との距離感を考えないといけない」「デートDVは、加害も被害も認識ができていないことがあるため怖い」「デートDVの被害の例を聞き、身近な話だと感じた」「デートDV被害の相手をされたら今回の学びを生かして寄り添ってあげたい」「束縛は愛されている証拠だと思っていたが、支配・被支配の関係でありデートDVにつながる事が分かった」など、様々な気づきや、今後の自身の行動への指針としていただけました。

令和2年6月には、文部科学省において、「生命の安全教育」を推進することとされました。教材もHP上で公開されていますので、是非ご利用いただき、子どもたちの将来のために正しい知識、考え方を伝えていきたいと思います。

## VOICE

happy

# デートDVに関する学習コンテンツは

## 『違いを理解し受け入れること』

比叡山高等学校 人権教育主事 稲田宏一先生



## 児童生徒は何を学び、どう考えるのか



中学校でのワークショップの様子

ちがいはお互いを高める宝物という言葉がとても心に響きました。



6月20日開催  
第1回G-NETほっとセミナー  
日本のジェンダー問題の  
核心を問う



日本のジェンダー平等の遅れの理由と私たちの課題・展望について、京都産業大学教授の藤野敦子さんにお話をいただきました。現在の日本人の無意識のバイアスは、男性が家を継ぐ、年長者に従う、などの『家族観』によって作られていると考えられます。日本のジェンダーギャップ指数は156か国中120位と低い位置にありますが、欧米諸国は、かつて日本以上に不平等でした。自由平等の問い直しが始まり、意識を実践に移し、女性の自由・権利を求める運動が広がる中で、ジェンダー平等へ螺旋状に変化していききました。ジェンダーの問題は、意識が変わったとしても、構造そのものは変わらないため、無意識を意識化し、実践していくことの重要性について学びました。

6月12日開催  
第1回ユースリーダーセミナー  
SDGsを学び、考える



本年度もユースリーダーセミナーを開催しました。滋賀県立大学地域共生センター地域連携コーディネーターの谷口嘉之さんをお招きし、SDGsについて基礎から学びました。SDGsは17全てのゴールが関連し合っていることを学んだり、身の回りの「当たり前」としていたことに気づき、必要であればその当たり前をなくしていくことの必要性について考えたりしました。ジェンダーの問題についても、「当たり前」となり、問題に気づかないことも多く、大切な視点を与えていただきました。

7月30日開催  
デートDVの防止啓発セミナー(教職員さんかく講座)  
被害者の視点で考える教育



おやこひろば桜梅桃李代表の柳谷和美さんをお迎えして、被害者の立場、支援者の立場の両面からデートDV、性暴力などについて、自身の被害経験も交えてお話しいただきました。被害者が声を上げにくい理由や、自身を責める気持ちなど、被害者の立場について熱く語っていただきました。性暴力については、被害を受けているにもかかわらず、相手を責めるのではなく自分を責めてしまうことや、様々な二次被害に苦しんでこられました。性被害をなくすためには、年齢に応じた正しい性教育が必要であり、正しい知識をもつことで加害を減らすことができますと教えていただきました。デートDVについても、基礎知識とともに、支配・被支配の関係から抜け出せないことを、自身の体験からお話しいただきました。デートDVの被害者は、安全・安心・自信・成長を奪われて恐怖や諦めにより、抜け出すだけの気力や判断力を奪われず、抜け出せたとしても大きな心の傷が残ってしまいます。「今の社会は(学校も)、加害者の声を尊重しすぎ、被害者の声が消されている部分も多くありません。」(柳谷先生より)

講座REPORT

第1回5月13日 第2回7月8日開催  
相談員スキルアップ講座  
相談者に寄り添うために



第1回講座は、滋賀県公認心理士会代表理事の鈴木葉子さんに、相談業務の基礎となる傾聴についてお話しいただきました。ロールプレイを交えて、実践的な学びとともに、傾聴のスキルを高めることにも、すぐに日々の業務に生かせる学びとなりました。第2回講座は、弁護士石田の石田達也さんに、DVや離婚に関する法律と具体的な支援についてお話しいただきました。DVによる離婚の具体的な事例をもとに、相談員としてどのように考

え、関わっていくのかについて、参加者同士の意見交換をすることで学びを深めることができました。どのような事案であっても、一番の弱者は誰か、その弱者をどのように守るのかということを最優先に考えておられる先生の熱い思いが強く伝わってきました。講座となりました。

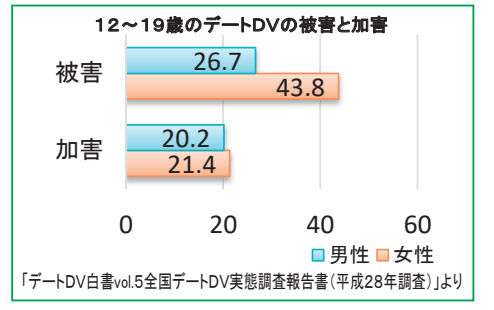
第1回4月23日 第2回7月9日開催  
市町男女共同参画担当職員研修



第1回講座は、ミューストリム代表の勝身真理子さんに、「ジェンダーギャップ解消への加速〜ジェンダー主流化へ〜」をテーマに男女共同参画について広く知識を得るため、国の第5次男女共同参画計画をもとにお話しいただきました。第2回講座は、福井県立大学教授の塚本利幸さんに「統計・アンケート調査等エビデンスベースによる男女共同参画計画等の策定について」をテーマにお話しいただきました。データをもとに正しく現状を把握・認識することで、必要な施策を打ち出せることを学ぶとともに、福井県でのデータ共同参画に関する様々なデータの分析の実例についても示していただきました。この2回の講座で、広く知識を得ること、現状を正しく把握することで、実践すべきことが明確になることを学びました。

TOPIX デートDVの現状を知る

デートDVという言葉を見たことがあるでしょうか。デートDVとは、交際中のカップルの間に起こるDVのことです。あまり聞きなじみのない言葉かもしれませんが、若者の間で大きな問題になっています。デートDVの関係においては、支配・被支配の関係がつくられます。このような関係に陥らないためには、正しい知識を持つことが大切です。いち早くデートDVの関係に気づき、抜け出せる知識を身につけ、相談相手を見つけておくことが必要です。お互いに、より良いパートナーシップを結べるよう、自分らしさを保ちながら、お互いに成長できる関係を築けるようにしてください。



DV(デートDV)といえば、主に身体的暴力をイメージする人が多いかと思えます。DVは支配・被支配の関係にある状態で、①身体的暴力②心理的暴力③経済的暴力④性的暴力の4つの暴力を受けている割合は3人に1人となっていて、とても身近な問題です。女性の4割以上が被害にあっています。女性ばかりが被害にあうと考えている人も多いですが、男性も高い割合で被害にあっています。加害意識については、被害の意識よりも低く、自身のデートDV加害に気づいていないことが多いのです。このように、身体的な暴力以外の暴力を受けていても、それを暴力と気づかないことで、デートDVの問題は大きくなってしまいます。デートDVには、相手がいつもピリピリとした態度になるイライラ期、怒りがコントロールできなくなり暴力を振るう爆発期、その後、一転して優しくなる

# びわ湖一周 さんかくセンターめぐり

## 館内クイズラリー

6月23日(水)から6月29日(火)の男女共同参画週間に合わせて、6月23日(水)から8月31日(火)まで当センターでは、「カチン!」とくる言葉展と館内クイズラリーを開催しました。

館内クイズラリーでは、男女共同参画や当センターに関するクイズに館内を回りながら解答していただきました。

今回は茶亭についてのクイズもあり、晴れの日には茶亭を開放し、自由にご覧いただきました。

また、「カチン!」とくる言葉展では、性別による役割分担意識などに関連して、普段の何気ない会話やメディアから流れてくる情報の中での「カチン!」と

くる言葉を知ることで、無意識であったことを意識していくことの大切さに気づききっかけになりました。今回、応募いただいた中から2点紹介します。



館内展示の様子



館内クイズラリーの様子

「100買ってきて、自由に買い物いけるやろ。」(あやこさん)  
 小さい子ども二人連れて、「自由に」ってどういうことかわかる?自由なんてありません。「あれしたい」「これほしい」と言われながら、走りまわる子どもを追いかけながらする買い物って本当大変です。

「女のくせに…」「男やったら…」(ラピスラズリさん)  
 何をしても性別は関係ないのにそんなことをいわれたら、やりたいことをがまんしなければいけないように思える。やりたいことをやればいいのに、性別によって変わったら、自分らしさがなくなる。

# 男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰 女性のチャレンジ賞受賞しました!

男女共同参画社会づくりに関する内閣府の表彰について、令和3年度は、滋賀県から「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」を株式会社永楽屋 代表取締役の宮川富子氏が、「女性のチャレンジ賞(女性のチャレンジ支援賞)」をしが農業女子100人プロジェクトが6月29日に受賞しました! 本年は新型コロナウイルス感染症の影響により内閣府における表彰式が中止となっており、この度、県において、知事より表彰状等の伝達を8月24日、滋賀県公館にて行いました。

## 〇男女共同参画社会づくり功労者表彰 宮川 富子 氏(株式会社永楽屋 代表取締役)

### <授賞理由>

県内の企業経営者に男性が多い中、中小企業の女性経営者や女性起業家の活躍に向けて、リーダーとして、行政を含め様々な分野で幅広く提言や助言・指導を行っており、滋賀県経済界における男女共同参画の推進に多大な貢献をはたされました。



宮川様と受賞の記念撮影

## 〇女性のチャレンジ賞(女性のチャレンジ支援賞) しが農業女子100人プロジェクト

### <授賞理由>

栽培技術から私生活に関する様々なことで支え合い、さらなる農業発展を目的として、世代の近い農業女子7人で発足しました。その後、県内の女性農業者や消費者とより繋がることを目指し、2018年に会員制度を確立。活動を支援するための「サポート会員」や行政による「特別会員」のほか、「学生会員」も制定し、幅広いネットワークを形成しています。また、スーパーや直売所での常設販売ブース設置による販路拡大や、農業・農村の魅力を伝える活動等、多角的に活動されていることが評価されました。



しが農業女子100人プロジェクトのみなさんと受賞の記念撮影

## 滋賀県立男女共同参画センター “G-NETしが” 所長あいさつ

所長 佐保田 ます美



滋賀県立男女共同参画センターの所長に令和3年4月1日より就任いたしました。センターは今年の11月で設立35年目を迎えます。本県の男女共同参画推進に向けた拠点施設として、日々、県民の皆様にご利用ご活用いただきながら、各世代、各方面に向けて意識啓発や活動の支援に取り組んでまいりました。

昨年から続く新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、時には利用の中止や変更をお願いすることもございましたが、快くご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

さて、長引くコロナ禍は、人々の働き方や暮らし方、価値観に及ぶまで大きな影響を与えていますが、非正規雇用労働者の多くを占める女性が経済的に厳しい状況にさらされたり、無償ケア労働の増加やDVの増加など、これまで抱えてきた男女共同参画の課題も浮き彫りにしました。

改めてジェンダー平等に向けた取組の重要性を痛感する中、センターでは相談支援・意識啓発・情報発信・交流活動支援・起業支援などに、職員一丸となって引き続きしっかりと取り組んでまいり所存でございます。

様々な事情で辛い状況の方も多し中、誰もがまた前を向いて進んでいけるような手がかりをセンターが提供できるように、また、センターに来ていただければ自分をリセットできるような、いつもふうわりとした春風が吹いているようなセンターでありたいと思っています。

男女共同参画社会はきっと笑顔が多い社会です。みんなで笑顔になっていくために男女共同参画社会実現に向けた様々な取組を、コロナ下でも感染防止対策を講じながら工夫して実施し、笑顔の連鎖を広げていきたいと思っておりますので、皆様、今後とも『G-NETしが』をどうぞよろしくお願いいたします。

## 一人で悩まずに/ 女性のつながりサポート事業

日々の生活のなか孤独・孤立で不安を抱えていませんか?一人で悩まず、気軽に「なんでも相談会」や「だれでも交流会」に参加してみてください。いくつかの県立施設では生理用品の配布も行っております。お名前等は問いませんので、お困りの方はお越しください。

なんでも相談会とは…  
専門の相談員があなたの悩みをなんでもうかがいます。誰に相談したらいいかわからないことも話してみてください。

だれでも交流会とは…  
県内数か所に設置するあなたのための居場所です。誰かに悩みを話すと気持ちが軽くなることも。いつでもお立ち寄りください。

詳しくは  
滋賀県HPまたは  
社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会HPまで

滋賀県HP 女性のつながりサポート事業  
<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kurashi/danjyosankaku/321009.html>

滋賀県社会福祉協議会HP  
<https://www.shigashakyo.jp/>

〇Facebookページ 女性のつながりサポート事業  
<https://www.facebook.com/w.support.shiga>  
 〇Twitter @w\_support\_shiga  
 〇Instagram @w\_support\_shiga

Instagram Twitter facebook